

新型コロナウイルスのワクチン接種に関する考え

新型コロナウイルスのワクチン接種に関し、日本統合医療学会は本学会に所属するすべての会員等に対し、次の通り本学会の考えに基づいた冷静な行動を希求します。

1. **自己決定権の尊重:** ワクチンの接種の可否は個人の自己決定に従うものであり、他者が強制するものではない。

ワクチンについては、科学的な根拠に基づく見解だけでなく様々な見解が表明されています。しかし、最も重要なことは、ワクチンの接種の決定が接種を受ける個人によりなされるものであって、これが自己決定権に基づく重要な行動であるということです。したがって、みだりに他者が、ワクチン接種を強制する、あるいは不接種を強制するようなことがないようにしなければなりません。

もちろん、接種あるいは不接種に対する非難等を行うこともあってはならないのです。本学会会員には、このことを十分に理解していただきたいと思います。

2. **自己見解への責任:** 自己の見解の表明時には十分な根拠を開示すると共に、その表明した意見に責任を伴うことを自覚しなければならない。

ワクチンに関する情報を求める国民は多いです。そして、多くの善良なる専門家は、その専門的見解を SNS 等の様々な媒体を通じて発信しています。本学会も既に「新型コロナウイルス感染拡大の中で、一人一人が自宅で取りくめる統合医療によるセルフケア」を web 上 (<http://imj.or.jp/intro/covid19>) に公開しています。

本学会では、善良なる専門家としてワクチンに関する情報の公表を行っている、あるいは行おうとしている学会員の行動を規制しません。但し、その公表する情報に関しては、必ず十分な根拠を開示することを求めます。エビデンス・ピラミッド(注1)が示す通り、すべての健康情報のエビデンスには信頼性のレベルに違いがあります。学術集団である本学会に所属するすべての会員等は、学術を主とする本学会の社会的責任を認識し、十分な根拠を基とした情報の発信を行ってください。これは、健康情報に係るリテラシーの問題であり、看過することのできない重要な課題ですので、十分に留意願います。

注1.

エビデンス・ピラミッド

